



自転車を使用した港湾施設点検訓練を実施しました

清水港湾事務所では、大規模災害発生時の応急対応能力の向上のため、交通手段が使えなくなった場合を想定した、自転車による港湾施設点検訓練を、昨年度に引き続き実施しました。事務所職員5名により、三保、興津の各方面に向かう2班体制で行いました。

訓練の結果、各施設までの所要時間・路面状況・入場手段、点検に用いる資機材の運搬方法、暑さ対策の必要性などについて、今年度から着任した担当者を含めて確認することができました。清水港湾事務所では引き続き、このような実践的な訓練を実施し、災害対応力の強化を推進してまいります。

1. 実施概要

日時：令和7年6月17日（火）13:10～16:10

場所：清水港港湾施設

うち興津地区、袖師地区、江尻地区方面点検班2名

日の出地区、富士見地区、折戸地区、三保地区点検班3名

2. 実施内容等

- 清水港湾事務所（清水区日の出町）から、袖師・興津方面と折戸・三保方面に向かうチームに分かれ、「パンクレスタイヤ自転車」に乗って出発。現地調査時間含めた往復で、三保地区約180分、興津埠頭約150分かかりました。
- 各埠頭に到着後、国有の岸壁や護岸、観測施設など、点検が必要な港湾施設すべてを巡回し、被災状況の情報管理を行う港湾防災情報システムに点検結果を登録し、衛星携帯電話を使用した状況報告を実施しました。
- 通常時であれば、各施設までは車で移動しますが、災害時の燃料供給の途絶や道路の被災を想定し、当事務所にもパンクレスタイヤ自転車を2台配備しています。当該自転車は悪路に強いものの、通常の自転車よりも漕ぐ力があるため体力を消耗しやすいことを、今年度から着任した担当者を含め再確認できました。
- 自転車で移動する際に通行すべきルートをあらかじめ確認しておく必要があること、真夏日の移動において水分補給等熱中症防止対策の必要があることなどを、改めて確認できました。

3. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

沿岸防災対策室 高石（たかいし）

TEL：054-352-4149

E-mail：pa.cbr-shimizukikaku@mlit.go.jp



事務所から出発(パンクレスタイヤ自転車)



施設点検の状況



衛星携帯電話を使用した通信訓練

港湾防災情報システム **災害モード** 災害種類: その他 災害名: 港湾防災情報システム演習訓練 施設情報出力 中部地方整備局管内全域 表示時間: 06/17 11:30以降 最終更新: 15:34

施設名	港湾名	地区名	結果	コメント	写真ファイル	点検日時	
三保ケーソンヤード	清水港	三保	目視確認できる損傷なし		 3枚	2025/06/17 14:50	詳細 修正
新興津緑地	清水港	新興津	目視確認できる損傷なし		 2枚	2025/06/17 14:35	詳細 修正
新興津2号岸壁	清水	新興津	目視確認できる損傷なし		 3枚	2025/06/17 14:19	詳細 修正
折戸貯木場波除堤	清水	折戸	一部損傷があるが利用には問題ない		 3枚	2025/06/17 14:18	詳細 修正
興津2-3号岸壁	清水	興津	目視確認できる損傷なし		 2枚	2025/06/17 14:14	詳細 修正
興津6-9号岸壁	清水	興津	目視確認できる損		 3枚	2025/06/17	詳細

レイヤー: リアルタイムデータ, 事前データ, 背景地図
機能: 1次点検, 2次点検初動, 2次点検詳細, その他被害, 供用状況, 被害推定, 帳票

港湾防災情報システムへの登録状況